

## 自殺者0人の社会を目指して

市川市で毎年80人の人が自殺で亡くなっています。市川市で死亡される方の原因の第5位に当たります。日本全体の数値になりますが、若者である20歳から45歳の男性と、それから15歳から35歳の女性においては、死因の第1位が自殺です。大前提として「人の命」を守る事が、政治家の仕事だと思います。失わなくて良いはずの命が、多く失われていってしまっているのは、政治や行政が正しく機能していないからだと思います。そんな現状を歯痒く思っています。

先日、私の親しかった友人が自殺をしました。職場のパワハラが原因だったようですが、自分の無力さに嫌になりました。死んだ友人も不幸ですし、私を含め周りの人間も不幸になります。自殺は絶対、駄目です。

しかし、人は生きる権利もあると同時に死ぬ権利もあるのかも知れませんが、自殺するのは本人のエゴであり、認められるものかも知れません。ただそれと同時に、その人の周りの人のエゴもあって良いはずですが、私のエゴは「自殺されるのは嫌だ」です。

自殺者を0人にする。「そんな事出来る訳ないよ!」「大風呂敷を広げるな!」と周りの多くの人に怒られます。ですが、どうしても私に取り組みたい事です。絶対に実現します。では、自殺者を0人にするための具体的な施策とはなんでしょう? 学生であれば「いじめ撲滅」。夫婦間であれば「DV撲滅」。労働者であれば「多重債務者の適切な救済」。等多岐にわたり、それだけでまた大分類の政策になりそうです。紙面の都合もありますので、今後ひとつずつ、改めて解決方法を提案していきます。

とはいえ、政治的なアプローチとは別に私達に出来ることがあります。それは、「ほんの少しで良いので、まわりの人を気にかけて下さい。」思い悩んでいる人はいませんか? 睡眠不足の人はいませんか? 皆さんひとりひとりが忙しいのは重々承知です。でも、個々人が優しい気持ちで周りに接する事で少しづつ、良い社会、街が形成されると信じています。今日1日で構いません。是非、実践してみてください。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ!

平成22年5月20日

増田好秀